

愛知外相はアジア会議に出席するな！

インドシナ侵略に抗議して、クラス・ゼミから独自の行動を

愛知外相、明日、アジア会議へ出発
ニクソンの侵略に手をなす日本政府の
危険な役割

愛知外相は明日15日、アジア会議参加のため、ジャカルタへ出発しようとしている。カンボジア問題についてのこの会議は、「アジアの平和と表裏板に」はなら、その裏、「北」の封じこめ、ベトナムの人権をなすカンボジアのロンノル政権を支持しようとするものである。アジア会議は、韓国、フィリピン、オーストラリア、ニュージーランド、タイ、南ベトナム、ロンノル政権とほとんどがベトナム参戦国である。インド、セイロンは会議を拒否した。このような反共的性格のアジア会議に参加しようとする日本政府は、虐殺を続けるロンノル政権を支持し、戦争拡大の原因を北ベトナム、解放戦線にあるとしている。この会議に出席することは、日本がニクソンの侵略に手をなし、人民、平和勢力に敵対することであり、アジアにおける指導権をにぎろうとするものだ。我々は反戦平和の運動に参加し、愛知外相のアジア会議への出席に反対しなければならない。

全世界はニクソンに反対している

孤立する米軍のカンボジア侵略

米軍の侵略拡大はかえって全インドシナの解放勢力の強い結束をひきよめることとどつた。ソ連、中国をはじめとする社会主義国は、こつて米政府に対する抗議の声をあげている。英、仏、加政府さえ反対している。4月30日英政府は「米国の介入は理屈にあつていない」として支持しないことを発表した。米国内でもニクソンの「綱ねり」に批判が集中している。9日には終戦行動員委員会を中心にワシントンで十万人の学生によるデモがなされた。これまでには大規模で400以上の大デモ、反戦平和にむけてストライキが組織された。9日現在、ニクソンは米国内の世論にあつて米政府内部でも動揺が起きはじめている。ロジャース国務長官は戦争エスカレートに警告を与え、ヒッケル内務長官は学注鎮圧対策を批判している。

このようなかで、先進国では日本政府だけがニクソンを支持しているのだ。

クラス、ゼミなどから抗議の声を

創意をこらして独自の行動に起ちあなろう

我々は佐藤政府のニクソン支持と、愛知外相のアジア会議に反対し、反戦平和の声を学内できりあげることが必要とされている。そのためには、下からの運動が必要である。写真展示、街頭でのデモ、はり、プラカード、セツケン等々。各クラス、ゼミ、サークル、個人は創意をこらして独自の運動をつくりあなよう。